

● 県民生活を脅かす犯罪の徹底検挙と犯罪組織の壊滅に向けた取組の推進

施策目標 (PLAN)

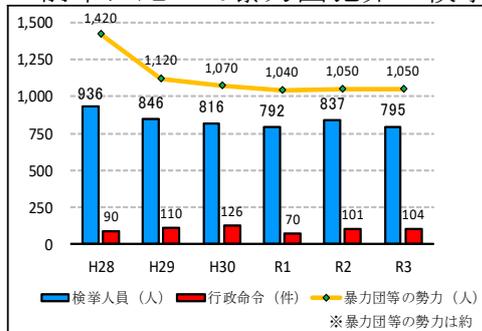
総合的な暴力団対策及び薬物銃器対策並びにヤード対策の推進

実施項目 (DO)

- 1 暴力団対策
 - 暴力団による不法行為の根絶
 - 暴力団の活動基盤を崩壊させるための諸対策の推進
- 2 薬物銃器対策
 - 薬物乱用者の徹底検挙
 - 薬物密輸事犯の取締り強化
 - 違法銃器の摘発強化
- 3 ヤード対策
 - 不法ヤードの実態解明、取締り、解体の更なる強化

実績 (成果) (CHECK)

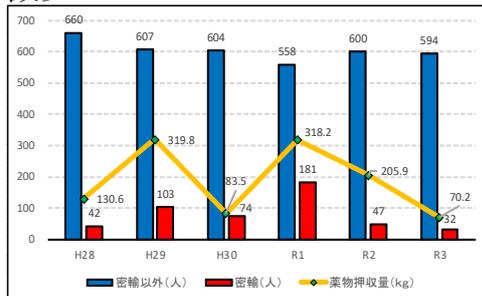
- 1 暴力団対策
 - 前年に比べて暴力団犯罪の検挙人員は減少、行政命令の発出件数は増加



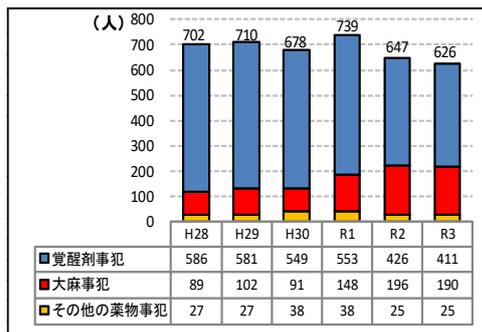
- 検挙人員の減少は、近年の暴力団排除活動の進展や暴力団犯罪の取締りに伴う資金獲得活動の困難化等により、暴力団からの構成員の離脱が進んだことなどが要因
- 令和3年中は、正月飾りの購入名目で現金を要求したとして中止命令を発出していた暴力団組員に対し、1年間の再発防止命令を発出するなど、暴力団組員による不当要求行為に対して多数の行政命令を発出

- 2 薬物銃器対策

前年に比べて薬物事犯、薬物密輸入事犯の検挙人員及び薬物の押収量がいずれも減少



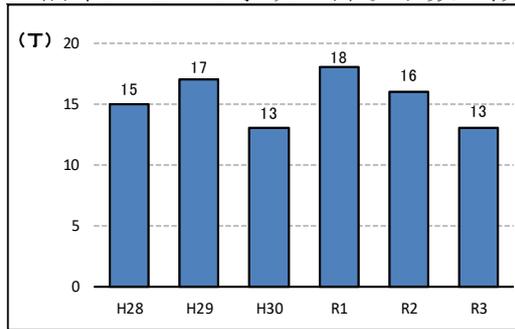
- 薬物密輸事犯の減少に伴い、薬物事犯の検挙人員及び薬物の押収量が減少
- 戸建住宅を利用した営利目的大麻栽培事件など社会的反響の大きい事件を検挙したほか、県警公式ツイッターを活用した大麻乱用防止メッセージの発信などの広報活動を実施



- 令和3年中の薬物事犯検挙人員の約6割を覚醒剤事犯が占めており、依然として根強い需要がうかがえる一方、大麻事犯については、統計史上最多となった令和2年に引き続き高い水準にあり、30歳未満の検挙人員が約7割と若年層における大麻乱用が拡大

【薬物事犯別検挙人員】

前年に比べて拳銃の押収丁数は減少

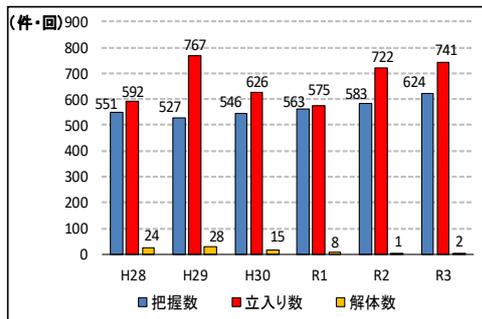


【拳銃の押収丁数】

- 拳銃の押収丁数の減少は、隠匿場所の巧妙化、暴力団による組織防衛の強化による情報収集の困難化が要因
- 県警ホームページ等に拳銃110番報奨制度について掲示し、幅広く拳銃その他の銃器等に関する情報の提供依頼を実施

3 ヤード対策

前年に比べて把握数、立入り数及び解体数はいずれも増加



【ヤードの把握数、立入り数及び解体数】

- 全国最多となる624か所のヤードを把握し、延べ741か所に立入検査等を実施
- 土地所有者への対策を通じ2か所のヤードを解体
- 県内ヤードの約7割が集中する印旛地域の関係機関・団体が連携してヤード対策を推進するための印旛地域ヤード対策連絡会議を開催

今後の課題及び方針 (ACTION)

1 課題

- 暴力団の弱体化・壊滅に向けた資金源の剥奪の推進
- 入国制限緩和による違法薬物密輸入事犯の増加や違法薬物乱用者の増加への対応
- 暴力団等の犯罪組織が所持・管理する拳銃の摘発強化
- 関係機関・団体との連携による不法ヤード化の防止と不法ヤードを生まないための環境づくりの推進

2 方針 (継続実施)

(1) 暴力団対策

- 暴力団による不法行為の根絶
- 暴力団の活動基盤を崩壊させるための諸対策の推進

(2) 薬物銃器対策

- 大麻を中心とした薬物乱用者の徹底検挙
- 薬物密輸入事犯の取締り強化
- 違法銃器の摘発強化

(3) ヤード対策

- ヤードの実態解明の推進、不法ヤードの取締りの更なる強化